

郡山市医療介護病院及び郡山市医療介護病院介護医療院
の運営状況について（答申）
（対象年度：令和3年度）

令和5年2月15日

郡山市医療介護病院等評価委員会

郡山市医療介護病院等評価委員会委員名簿

(任期：令和4年6月1日～令和7年5月31日)

委員長	土川 研也
委員長職務代理者	小口 正子
委員	岩瀬 次郎
委員	佐藤 竜太
委員	高田 哲也
委員	土屋 貴男
委員	橋本 直子
委員	堀口 ひろみ

令和4年度郡山市医療介護病院等評価委員会開催状況

No.	開催日時	開催場所	議題
1	令和4年8月10日(水)	郡山市総合福祉センター	○ 令和3年度郡山市医療介護病院等事業報告書に対する評価要領(案)について ○ スケジュールについて
2	令和4年10月5日(水)	郡山市総合福祉センター	○ 令和3年度郡山市医療介護病院等事業報告書の審査及び評価について
3	令和4年11月16日(水)	郡山市総合福祉センター	○ 令和3年度郡山市医療介護病院等事業報告書の審査及び評価について
4	令和4年12月21日(水)	郡山市総合福祉センター	○ 令和3年度郡山市医療介護病院等事業報告書の評価について

「郡山市医療介護病院及び郡山市医療介護病院介護医療院の運営状況について」に係る審査及び評価について

郡山市医療介護病院等評価委員会（以下「本委員会」という。）は郡山市医療介護病院（以下「医療介護病院」という。）及び郡山市医療介護病院介護医療院（以下「介護医療院」という。）の運営状況に関し、郡山市病院及び介護医療院条例の規定により、郡山市長からの諮問を受け、令和3年度医療介護病院等事業報告書の審査及び評価に関することについて、指定管理者である一般社団法人郡山医師会（以下「郡山医師会」という。）から令和4年5月30日に提出された令和3年度事業報告書の内容を、下記のとおり審査及び評価を行った。

記

1 会議の開催

本委員会は、郡山市病院及び介護医療院条例第15条第2項の規定に基づき、郡山市長から医療介護病院の運営状況について諮問を受け、令和4年8月10日から令和4年12月21日にわたり4回の委員会を開催し、審査及び評価を実施した。
なお、本委員会の開催状況については前頁のとおりである。

2 審査・評価の方法等

医療介護病院は開院16年度目、介護医療院は開所2年目に当たる令和3年度を、評価対象の事業期間とした。

評価は、病院事業及び介護医療院事業について総合的に評価する全体評価と、「令和3年度郡山市医療介護病院事業計画」の各事業項目及び令和3年度の経営状況等を項目とし、その達成状況や健全性、効率性等を評価する項目別評価により行った。

また、項目別評価の一部について数値目標の達成度による評価基準を導入し、達成度による評価、目標設定の妥当性、取組内容を含めて評価した。

なお、項目別評価の実施に際しては、参考資料として郡山医師会から自己評価を徴し、医療介護病院職員に対するヒアリングについては新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からウェブ会議システムを用いてヒアリングを行い、A・B・C・D・Eの5段階の評点（A：極めて適切である、B：適切である、C：おおむね適切である、D：適切さにやや欠ける、E：適切でない）により評価した。

令和3年度郡山市医療介護病院等事業報告書の審査及び評価について

1 全体評価

(1) 評価結果

医療介護病院は開院16年度目、介護医療院は開所2年目となった令和3年度は、極めて適切に「令和3年度郡山市医療介護病院事業計画」に基づいた事業運営がなされ、経営状況については新型コロナウイルス感染症対策や新型コロナウイルスワクチン接種に係る各種補助金による収益として約2,554万円などの特殊要因となる収益を含めて約2,630万円の当期純利益を確保するなど、財務の健全性が保たれており、適切に施設運営がなされたものと評価する。

(2) 評価に係る意見

はじめに、令和3年度における医療介護病院及び介護医療院の運営は、開院時に掲げた「生命の尊重と個人の尊厳を旨とし、和をもって市民に信頼される保健・医療・福祉サービスを提供します。」という基本理念のもと、次のとおり適切に運営がなされていると評価する。

まず、病床機能の充実であるが、病床稼働率は93.6%と前年度比で少し減少したものの、状態が不安定な方の受入れも積極的に行いながらできるだけ空床期間ができないようにベッドコントロールを行えたことは大変評価できる。FIM（機能的自立度評価法）^{※1}の活用についても新型コロナウイルス感染症の影響により講師を招いての勉強会はできなかったものの、日常業務の中で積極的に実践され患者の日々のケアに活かされていることは評価できる。

次に、外来機能の充実については、医療機器共同利用（受託検査）の受入体制の予約時間を拡大したことにより、令和3年度実施実績が前年度比で17%増となり地

域開業医の後方支援として十分に機能することができた。また、外来診療の充実については新型コロナウイルス感染症による受診控えも影響し、診療件数は前年度比で減少したが、発熱外来の設置や院内での PCR 検査体制の拡充により、地域における新型コロナウイルス感染症の診療に対応できたことは大変評価できる。

次に、介護医療院の適切な管理運営については、介護医療院の療養棟稼働率は年度目標を達成できなかったものの、達成度は 98.3% とほぼ目標に近い実績となっているとともに、入所者の QOL_{※2} を重視したケアプラン見直しや本人への支援により、ケアの充実を図ることができている。生活施設としてのサービスの充実及び地域交流とボランティアの積極的な受入れについては、携帯端末を用いたオンライン面会やオンラインを活用した地域交流を行うなど感染対策を図りながら実施手法に工夫がされていることは大変評価できる。また、地域の医療保健福祉及び介護サービス事業者との連携においても、新型コロナウイルス感染症の影響下でも円滑な連携が図れるようにするため、会議のオンライン化や MCS (メディカルケアステーション)_{※3} を用いた情報共有などの連携手法の工夫は大変評価できる。

次に、院内組織体制の強化については、歯科衛生士や管理栄養士といった専門職の採用により組織体制の強化を図るとともに口から食べる支援などの新たな課題に取り組むことができたこと、また、介護職の確保に苦慮してはいるものの、施設基準 (運営基準) を下回ることなく職員を充足させることができたことは大変評価できる。労働安全衛生の確立についても、前年度に引き続き職員の健康診断受診率、ストレスチェック制度の参加率ともに 100% を達成し、健診やストレスチェックの結果を踏まえてのアフターフォローも素晴らしい。

次に、医療安全体制の確立については、毎年度のヒヤリハットの報告に対して KYT (危険予知訓練) を行い、再発防止に努めることで令和 3 年度実績は前年度から 73 件減と成果が数字に表れたことは大変評価できる。医療安全に関する研修会につい

ても欠席者に対して研修映像による受講後にレポートを提出させることで、学習成果のチェックを行っていることは素晴らしい取組である。院内感染防止対策の徹底についても、院内組織による定期的なラウンド及びカンファレンスなどの感染防止対策の取組が前年度に引き続き実施され、新型コロナウイルス感染症の院内感染が発生していないことは大変評価できる。

次に、受診者・利用者の満足度の向上については、利用者満足度調査の結果、満足度の割合が前年度調査結果を上回ったことは大変評価できる。調査において意見のあった職員の態度や言葉遣いに対する指摘については、今後、接遇研修等の実施により改善に努められたい。

次に、経営状況については、例年生じる経常経費に加えて新型コロナウイルス感染症対策に係る支出もあったものの、院内感染の予防を徹底したことにより、感染発生による病床の縮小及び閉鎖、職員の減を防ぎ、年間を通して病棟及び療養棟の稼働率を維持し、外来診療などの受診控え等による医業収益の減を最小限に留めたことは評価できる。

その他、通所リハビリテーションの推進と効果的な運営、在宅療養支援体制の確立、学術・教育に関する事項、地域保健医療福祉に関する事項、広報活動に関する事項、郡山市医療介護病院等評価委員会の評価に対する分析と検討や医療保険制度・介護保険制度改正に向けての検討と対応が組織的・計画的に実施され、地域に根ざした保健・医療・福祉サービスの提供ができていることは評価できる。

今後、以下の点に留意され、医療介護病院及び介護医療院がより一層市民からの信頼を得て、効率的で安定した施設運営を実現していくことを期待する。

まず、予防医学の充実については、加齢度測定健診の実施において令和3年度の実施実績が1件と低調であったことを鑑み、認知度を上げていくためのPR方法や

多くの方々に受診してもらえらるようなニーズに合う健診内容への見直しを検討されたい。

次に、情報管理体制の整備については、外部文書の電子化や電子カルテの機能拡充、MCS（メディカルケアステーション）の活用などが進められている一方、ペーパーレス化がなかなか進まない状況が推察されることから、目標期限やペーパーレス化への切替完了までのプロセスなどを定めたロードマップについて策定を検討されたい。

次に、災害時の体制整備については、介護施設で令和6年度から義務付けとなる事業継続計画（BCP）の早期策定及び災害等の緊急時における24時間を超える電源確保の課題解決に取り組まされたい。

最後に、団塊の世代が後期高齢者となる2025年が間近に迫る中、新型コロナウイルス感染症の影響も長期化しており、「医療・介護・保健の拠点」としての役割がますます高まると考えられることから、医療介護病院及び介護医療院が市民により厚く信頼され、時代に即応した施設となるよう、全職員が一丸となり、地域ニーズに即した質の高いサービスを提供すると同時に、健全経営に取り組まされることを期待する。

※₁ FIM(機能的自立度評価法) : 「Functional Independence Measure」の略語。患者や介護サービス利用者の日常生活動作(ADL)の介護量を測定することができ、医学的な知識がない方でも採点できるため、医療現場だけでなく介護現場でも幅広く活用されている。

※₂ QOL : (Quality Of Life)の略語。「生活の質」や「人生の質」の意。

※₃ MCS(メディカルケアステーション) : 病院、クリニック、薬局、介護施設などで働く医療介護従事者の多職種連携をサポートするための非公開型医療介護連携コミュニケーションツール。

2 項目別評価

大項目Ⅰ「令和3年度事業計画の達成状況」については、中項目16項目、小項目38項目により評価を行い、評価は「A：極めて適切である」となった。

大項目Ⅱ「令和3年度の経営状況等」については、小項目2項目により評価を行い、評価は「B：適切である」となった。

各項目の評価に係る意見等については、以下のとおりである。

大項目	I 令和3年度事業計画の達成状況	評点	A
中項目	1 病床機能の充実	評点	A
	2 外来機能の充実		A
	3 介護医療院の適切な管理運営		A
	4 通所リハビリテーションの推進と効果的な運営		A
	5 在宅療養支援体制の確立		A
	6 予防医学の充実		A
	7 院内組織体制の強化		A
	8 医療安全体制の確立		A
	9 受診者・利用者の満足度の向上		A
	10 情報管理体制の整備		B
	11 災害時の体制整備		B
	12 学術・教育に関する事項		A
	13 地域保健医療福祉に関する事項		A
	14 広報活動に関する事項		B
	15 郡山市医療介護病院等評価委員会の評価に対する分析と検討		A
	16 医療保険制度・介護保険制度改正に向けての検討と対応		A
評価に係る意見等	<p>令和3年度の病院運営は、新型コロナウイルス感染症の影響により患者家族の直接面会の自粛や各種事業において規模縮小を余儀なくされたが、前年度に引き続き感染症対策や職員への教育を徹底した結果、利用者や職員における新型コロナウイルス感染症の発生を防ぐことができた。また、病院全体として新型コロナウイルス感染症が発生しなかったことで病床稼働率についても例年とほぼ同程度を維持し、各種事業について概ね適正に執行された。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の関連業務としてPCR検査の実施や新型コロナウイルスワクチンの接種など地域医療に大きく貢献している。</p>		

中項目	1 病床機能の充実	評点	A
小項目	1 医療・介護連携による効率的運用及び専門職の連携と取組の推進	評点	A
	2 リハビリテーションの充実（FIM の活用）		A
	3 オープン病床の活用		B
評価に係る意見等	<p>医療・介護連携による効率的運用及び専門職の連携と取組の推進について、病床稼働率は93.6%と前年度比で少し減少したが、状態が不安定な方の受入れも積極的に行いながらできるだけ空床期間ができないようにベッドコントロールを行えたことは大変評価できる。</p> <p>リハビリテーションの充実（FIM の活用）については、新型コロナウイルス感染症の影響により講師を招いての勉強会はできなかったものの、日常業務の中で積極的に実践され患者の日々のケアに活かされていることは評価できる。</p> <p>オープン病床の活用については、前年度比で紹介件数は減少したものの、全てのケースについて緊急入院の受入対応ができたことから在宅医療の後方支援としての役割を担っていると判断する。</p>		

中項目	2 外来機能の充実	評点	A
小項目	1 病診連携・医療機器共同利用（受託検査）の推進	評点	A
	2 外来診療の充実		A
評価に係る意見等	<p>病診連携・医療機器共同利用（受託検査）の推進については、受託検査の受入体制の予約時間を拡大したことにより、令和3年度実施実績が前年度比で17%増となり地域開業医の後方支援として十分に機能している。</p> <p>外来診療の充実については、新型コロナウイルス感染症による受診控えも影響し、診療件数は前年度比で減少したが、発熱外来の設置や院内でのPCR検査体制の拡充により、地域における新型コロナウイルス感染症の診療に対応できたことは大変評価できる。</p>		

中項目	3 介護医療院の適切な管理運営	評点	A
小項目	1 日常的な医学管理・看取り・ターミナルケア体制の充実及び専門職の連携と取組の推進	評点	A
	2 生活施設としてのサービスの充実及び地域交流とボランティアの積極的な受入れ		A
	3 地域の医療保健福祉及び介護サービス事業者との連携		A
	4 短期入所療養介護サービスの効果的、効率的な運営		B
評価に係る意見等	<p>日常的な医学管理・看取り・ターミナルケア体制の充実及び専門職の連携と取組の推進については、療養棟稼働率は年度目標を達成できなかったものの、達成度は98.3%とほぼ目標に近い実績となっている。また、入所者のQOL（生活の質）を重視したケアプラン見直しや本人への支援により、ケアの充実を図ることができている。</p> <p>生活施設としてのサービスの充実及び地域交流とボランティアの積極的な受入れについては、携帯端末を用いたオンライン面会や地域交流においてもオンラインを活用した交流を行うなど感染対策を図りながら実施手法に工夫がされていることは大変評価できる。</p> <p>地域の医療保健福祉及び介護サービス事業者との連携については、新型コロナウイルス感染症の影響下でも円滑な連携が図れるようにするため、会議のオンライン化やMCS（メディカルケアステーション）を用いた情報共有などの連携手法の工夫は大変評価できる。</p> <p>短期入所療養介護サービスの効果的、効率的な運営については、コロナ禍による利用控えもあり、令和3年度目標の利用件数には至らなかったが、状況に応じてショートステイのベッドを入所に転用するなどの工夫により前年度とほぼ同様の療養稼働率を達成できている。次年度は目標件数が達成できるよう努められたい。</p>		

中項目	4 通所リハビリテーションの推進と効果的な運営	評点	A
評価に係る意見等	<p>通所リハビリテーションの利用件数は令和3年度目標の利用件数を達成することができなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響下において利用者が安心して利用するための環境整備や利用者へのサービス向上を目指した多職種によるカンファレンスの実施は評価できる。次年度は今年度の取組が利用件数実績の成果として反映されることを期待する。</p>		

中項目	5 在宅療養支援体制の確立	評点	A
小項目	1 地域包括ケアシステムの推進	評点	A
	2 病診連携によるかかりつけ医への支援（認知症・看取り・その他）		A
	3 必要に応じた在宅医療の実施（訪問診療・訪問リハ・訪問栄養・その他）		B
	4 郡山医師会の関係機関との連携		A
評価に係る意見等	<p>地域包括ケアシステムの推進については、新型コロナウイルス感染症の影響により対面での活動が制約される中、ICT ツールの活用による研修会やアンケート調査の実施により、医療と介護の連携が図られている。</p> <p>病診連携によるかかりつけ医への支援（認知症・看取り・その他）については、かかりつけ医からの随時の相談に対応し、病院及び介護医療院の状況を調整しながら受入れを行うことができたことは評価できる。</p> <p>必要に応じた在宅医療の実施（訪問診療・訪問リハ・訪問栄養・その他）については、診療件数が目標に達しなかったものの、平常時の業務に加えて新型コロナウイルス関係の業務を行っていることを踏まえるとやむを得ないものと解する。</p> <p>郡山医師会の関係機関との連携については、事業所が院内にあるという利点を生かし、緊急時の対応を含めて円滑な連携が図られている。</p>		

中項目	6 予防医学の充実	評点	A
小項目	1 各種健康診査（在宅療養者の健康診査を含む）の充実	評点	A
	2 特定保健指導・加齢度測定健診の実施		B
	3 予防接種事業への協力		A
評価に係る意見等	<p>各種健康診査（在宅療養者の健康診査を含む）の充実については、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えがあったものの、前年度と同程度の健康診査実施件数が達成されている。</p> <p>特定保健指導・加齢度測定健診の実施については、特定保健指導は前年度から倍以上となる実施実績となったが、加齢度測定健診は実施実績が1件と低調であった。加齢度測定健診については認知度を上げていくためのPR方法や多くの方々に受診してもらえそうなニーズに合う健診内容への見直しを検討いただきたい。</p> <p>予防接種事業への協力については、平常時のインフルエンザワクチン及び肺炎球菌ワクチンに加えて新型コロナウイルスワクチンの接種を外来診療以外の時間帯で対応するなど地域医療に大きく貢献している。</p>		

中項目	7 院内組織体制の強化	評点	A
小項目	1 各部門の体制強化及び必要人員の確保	評点	A
	2 労働安全衛生の確立		A
	3 コ・オペレイティング・ドクターズチームとの連携強化		A
評価に係る意見等	<p>各部門の体制強化及び必要人員の確保については、歯科衛生士や管理栄養士といった専門職の採用により組織体制の強化を図るとともに口から食べる支援などの新たな課題に取り組むことができたこと、また、介護職の確保に苦慮してはいるものの、施設基準（運営基準）を下回ることなく職員を充足させることができたことは大変評価できる。</p> <p>労働安全衛生の確立については、前年度に引き続き職員の健康診断受診率、ストレスチェック制度の参加率ともに 100%を達成することができたことは大変評価できる。また、健診やストレスチェックの結果を踏まえてのアフターフォローも素晴らしい。</p> <p>コ・オペレイティング・ドクターズチームの連携強化については、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が行えなかったが、通常の日当直業務は影響なく行うことができています。</p>		

中項目	8 医療安全体制の確立	評点	A
小項目	1 医療安全管理に対する取組の強化	評点	A
	2 院内感染防止対策の徹底		A
	3 院内における防災訓練の充実		A
評価に係る意見等	<p>医療安全管理に対する取組の強化については、毎年度のヒヤリハットの報告に対してKYT（危険予知訓練）を行い、再発防止に努めることで、令和3年度実績は前年度から73件減と成果が数字に表れたことは大変評価できる。医療安全に関する研修会についても業務都合等による欠席者に対して研修映像による受講後にレポートを提出させることで、学習成果のチェックを行っていることは素晴らしい取組である。</p> <p>院内感染防止対策の徹底については、院内組織による定期的なラウンド及びカンファレンスなどの感染防止対策の取組が前年度に引き続き実施され、新型コロナウイルス感染症の院内感染が発生していないことは大変評価できる。また、感染防止研修会についても全職員の参加を目指して同内容での研修の複数回実施や実施時間帯を日中の勤務時間帯に設定する取組は大変評価できる。</p> <p>院内における防災訓練の充実については、各種訓練及び毎月の自主検査により適切に実施されている。</p>		

中項目	9 受診者・利用者の満足度の向上	評点	A
評価に係る意見等	<p>利用者満足度調査の結果、満足度の割合が前年度調査結果を上回ったことは大変評価できる。調査において意見のあった職員の態度や言葉遣いに対する指摘については、今後、接遇研修等の実施により改善に努められたい。</p>		

中項目	10 情報管理体制の整備	評点	B
小項目	1 院内情報の一元化及びペーパーレス化に向けた検討	評点	B
	2 職員に対する情報システム・管理等の周知徹底		A
	3 情報公開・公表の推進		A
評価に係る意見等	<p>院内情報の一元化及びペーパーレス化に向けた検討については、外部文書の電子化や電子カルテの機能拡充、MCS（メディカルケアステーション）の活用などが進められているが、一方でペーパーレス化はなかなか進まない状況が推察されることから、目標期限やペーパーレス化への切替完了までのプロセスなどを定めたロードマップについて策定を検討されたい。</p> <p>職員に対する情報システム・管理等の周知徹底については、情報管理体制及び個人情報保護研修の研修方法にランチョンセミナーを導入したことにより受講率が前年度の46%から92.7%まで大幅に伸びたことは大変評価できる。</p> <p>情報公開・公表の推進については、ホームページやFacebookにより適切に情報発信がされている。</p>		

中項目	11 災害時の体制整備	評点	B
小項目	1 事業継続計画（BCP）の策定	評点	B
	2 災害用備蓄品等の整備と見直し		B
	3 郡山市及び郡山医師会の災害対策への協力		B
	4 情報の収集と発信及び地域住民との協力体制の構築		B

評価に係る意見等	<p>事業継続計画（BCP）の策定については、介護施設において令和6年度から策定された業務継続計画（BCP）の運用が義務付けられていることから、早期に策定されるよう尽力されたい。</p> <p>災害用備蓄品等の整備と見直しについては、緊急時における24時間を超える電源確保の課題に対して備蓄を含めた対応ができていないため、課題解決に向けて検討を進められたい。</p> <p>郡山市及び郡山医師会の災害対策への協力については、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、総合防災訓練が中止になったことにより具体的な活動はなかったが、災害時に備えた取組は行われている。</p> <p>情報の収集と発信及び地域住民との協力体制の構築については、院内の情報収集、共有、連絡体制は構築されているが、近隣地域の地域住民との協力体制の構築については取組が始まったばかりであることから、今後の進捗に期待する。</p>
----------	---

中項目	12 学術・教育に関する事項	評点	A
小項目	1 教育研修の計画的な推進と実施	評点	A
	2 ユマニチュード®の実践への取組と推進		A
	3 ボランティア活動支援の推進		A
	4 医療・介護専門職実習受入体制の充実		A
	5 郡山看護専門学校への協力		A
評価に係る意見等	<p>教育研修の計画的な推進と実施については、研修についてフィジカルアセスメント研修やランチオンセミナーなどの職員が参加しやすく学びやすい環境づくりの工夫がなされながら年間計画に基づき適切に実施されている。</p> <p>ユマニチュード®の実践への取組と推進については、内部研修の実施及び外部研修への参加について計画どおり実施されている。</p> <p>ボランティア活動支援の推進については、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画に対して規模縮小や中止を余儀なくされたが、感染対策を行い出来る範囲で適切に事業が実施されている。</p> <p>医療・介護専門職実習受入体制の充実については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、実習生へのPCR検査を行い、陰性確認後に実習を開始するなど院内感染防止を図りつつ、実習受入を行うことができたことは大変評価できる。</p> <p>郡山看護専門学校への協力については、学校への講師派遣が適切に実施されている。</p>		

中項目	13 地域保健医療福祉に関する事項	評点	A
小項目	1 健康相談・健康教育及び公開講座・出前講座の開催	評点	A
	2 総合相談窓口の機能の充実		B
	3 認知症対策事業の推進		A
	4 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進		A
評価に係る意見等	<p>健康相談・健康教育及び公開講座・出前講座の開催、認知症対策事業の推進及び在宅医療・介護連携支援センター事業の推進については、新型コロナウイルス感染症の影響により当初計画どおりの開催はできなかったものの、規模縮小や開催手法の創意工夫により、感染症対策を講じつつ可能な範囲で各種イベントを開催することができたことは評価できる。</p> <p>総合相談窓口の機能の充実については、相談件数が前年度比で95件減であった。件数については相手があることなのでやむを得ない部分はあるが、目標達成に向けた相談体制や専門職との連携強化に期待する。</p>		

中項目	14 広報活動に関する事項	評点	B
評価に係る意見等	<p>新型コロナウイルスに係る業務を最優先したことにより、広報誌の発行回数が年度目標に至らなかったことは、業務の優先順位を考慮すればやむを得ないものと解する。</p> <p>コロナ禍の多忙を極める中でホームページやFacebookによるできる範囲での情報発信は評価できる。各分野においてデジタル化が進んでいるが、高齢者の紙ベースに対する強いニーズもあることから次年度は広報誌の発行にも注力されたい。</p>		

中項目	15 郡山市医療介護病院等評価委員会の評価に対する分析と検討	評点	A
評価に係る意見等	<p>前年度の本委員会からの指摘等による課題を踏まえ適切な検討及び運営が成されており大変評価できる。</p>		

中項目	16 医療保険制度・介護保険制度改正に向けての検討と対応	評点	A
評価に係る意見等	令和4年度診療報酬改定に向けた情報の収集と検討を行い、データ提出加算の要件の範囲拡大や感染防止対策加算などの施設基準の見直しが計画的に進められていたことは大変評価できる。		

大項目	Ⅱ 令和3年度の経営状況等	評点	B
小項目	1 経営状況の健全性	評点	B
	2 経営効率化のための取組み		A
評価に係る意見等	<p>経営状況については、令和3年度の収支決算は黒字であった。例年生じる経常経費に加えて新型コロナウイルス感染症対策に係る支出もあったものの、院内感染の予防を徹底したことにより、感染発生による病床の縮小及び閉鎖、職員の減を防ぎ、年間を通して病棟及び療養棟の稼働率を維持し、外来診療などの受診控え等による医業収益の減を最小限に留めたことは評価できる。</p> <p>令和3年度が黒字となった主な要因は、新型コロナウイルス感染症対策に係る各種補助金による収益によるものである。新型コロナウイルス感染症対策に係る各種補助金は次年度以降の実施内容が不透明であることから、次年度においては補助金等による収益分が減収しても健全な経営状況が維持されることを期待する。</p>		

【参考】評価項目一覧

大項目 I 令和3年度事業計画の達成状況

中項目	小項目	評価の視点
1 病床機能の充実	1 医療・介護連携による効率的運用及び専門職の連携と取組の推進	・医療・介護における連携の連携状況 ・口腔・栄養のための専門職の連携状況及び取組内容
	2 リハビリテーションの充実（FIM の活用）	・FIM の活用状況
	3 オープン病床の活用	・オープン病床の活用状況
2 外来機能の充実	1 病診連携・医療機器共同利用（受託検査）の推進	・病診連携の推進に向けた取組内容 ・医療機器共同利用（受託検査）の実施実績
	2 外来診療の充実	・外来診療の実施実績 ・検査体制の整備状況
3 介護医療院の適切な管理運営	1 日常的な医学管理・看取り・ターミナルケアの体制の充実及び専門職の連携と取組の推進	・医学管理及び看取りの状況、ターミナルケア体制の状況 ・口腔・栄養のための専門職の連携状況及び取組内容
	2 生活施設としてのサービスの充実及び地域交流とボランティアの積極的な受入れ	・生活施設としてのサービス内容 ・地域との交流状況及びボランティアの受入れ状況
	3 地域の医療保健福祉及び介護サービス事業者との連携	・地域の医療保健福祉事業者及び介護サービス事業者との連携状況
	4 短期入所療養介護サービスの効果的、効率的な運営	・短期入所療養介護サービスの運営状況
4 通所リハビリテーションの推進と効果的な運営		・通所リハビリテーションの運営状況 ・多職種連携による口腔・栄養のための体制整備状況
5 在宅療養支援体制の確立	1 地域包括ケアシステムの推進	・地域包括ケアシステムの推進に向けた取組内容
	2 病診連携によるかかりつけ医への支援（認知症・看取り・その他）	・病診連携によるかかりつけ医への支援状況
	3 必要に応じた在宅医療の実施（訪問診療・訪問リハ・訪問栄養・その他）	・在宅医療の実施状況
	4 郡山医師会の関係機関との連携	・郡山医師会訪問看護ステーションとの連携状況 ・郡山医師会居宅介護支援事業所との連携状況 ・富田地域包括支援センターとの連携状況
6 予防医学の充実	1 各種健康診査（在宅療養者の健康診査を含む）の充実	・各種健康診査の実施実績
	2 特定保健指導・加齢度測定健診の実施	・特定保健指導の実施実績 ・加齢度測定健診の実施実績
	3 予防接種事業への協力	・予防接種事業への協力状況

中項目	小項目	評価の視点
7 院内組織体制の強化	1 各部門の体制強化及び必要人員の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門の体制強化に向けた取組状況 ・必要人員確保に向けた取組状況
	2 労働安全衛生の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生の確立に向けた取組状況
	3 コ・オペレイティング・ドクターズチームとの連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・コ・オペレイティング・ドクターズチームとの連携強化に向けた取組状況
8 医療安全体制の確立	1 医療安全管理に対する取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理に対する取組状況
	2 院内感染防止対策の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止対策の取組状況
	3 院内における防災訓練の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施状況
9 受診者・利用者の満足度の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査の結果内容
10 情報管理体制の整備	1 院内情報の一元化及びペーパーレス化に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> ・院内情報の一元化に向けた取組状況 ・ペーパーレス化に向けた取組状況
	2 職員に対する情報システム・管理等の周知徹底のための取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対する情報システム・管理等の周知徹底のための取組状況
	3 情報公開・公表の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開・公表の推進のための取組状況
11 災害時の体制整備	1 事業継続計画（BCP）の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続計画（BCP）の策定状況
	2 災害用備蓄品等の整備と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・災害用備蓄品等の整備状況
	3 郡山市及び郡山医師会の災害対策への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策への協力状況
	4 情報の収集と発信及び地域住民との協力体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の情報収集・発信の取組状況 ・地域住民との協力体制の構築状況
12 学術・教育に関する事項	1 教育研修の計画的な推進と実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修の充実に向けた取組状況 ・部門別研修の充実に向けた取組状況 ・学会発表の推進に向けた取組状況
	2 ユマニチュード®の実践への取組と推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ユマニチュード®研修の充実のための取組状況 ・ユマニチュード®に係る研究事業の推進状況
	3 ボランティア活動支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア研修と人材育成の取組状況 ・ボランティアの受入状況
	4 医療・介護専門職実習受入体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・看護実習受入体制の充実に向けた取組状況 ・介護福祉士実習受入体制の充実に向けた取組状況 ・医師、その他専門職実習受入体制の充実に向けた取組状況
	5 郡山看護専門学校への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・看護専門学校への協力状況

中項目	小項目	評価の視点
13 地域保健医療福祉に関する事項	1 健康相談・健康教育及び公開講座・出前講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> 健康相談及び健康教育の実施実績 公開講座及び出前講座の実施実績
	2 総合相談窓口の機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> 総合相談窓口の機能の充実に向けた取組状況
	3 認知症対策事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> オレンジカフェの充実に向けた取組状況 認知症サポーター養成講座の実施状況 認知症初期集中支援チームへの協力状況
	4 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 郡山医師会病診連携連絡協議会への協力状況及び郡山地域連携パス連携連絡協議会の運営状況 在宅医療・介護連携構築に向けた事業の推進状況
14 広報活動に関する事項		<ul style="list-style-type: none"> 広報誌及び郡山市医療介護病院ホームページの充実に向けた取組状況
15 郡山市医療介護病院等評価委員会の評価に対する分析と検討		<ul style="list-style-type: none"> 郡山市医療介護病院等評価委員会の評価に対する分析及び検討状況
16 医療保険制度・介護保険制度改正に向けての検討と対応		<ul style="list-style-type: none"> 医療保険制度・介護保険制度改正に向けた検討及び対応状況

大項目Ⅱ 令和3年度の経営状況等

中項目	小項目	評価の視点
	1 経営状況の健全性	令和3年度の経営状況
	2 経営効率化のための取組み	経営効率化のための取組状況